

《担当者名》○竹生礼子 [take-r@hoku-iryo-u.ac.jp]
 川添恵理子 [e-kawa@hoku-iryo-u.ac.jp]
 峯岸高裕(兼担) [t-minegishi@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

病や障害とともにある療養者・家族が、可能な限りの最高のQOLの獲得ができるよう、ケアマネジメントの過程を習得し、関係機関・職種のネットワークの構築、退院支援・調整、継続看護マネジメント、在宅移行可能性を推進する能力を養う。

【学修目標】

在宅ケアマネジメント、および退院支援・調整、継続看護マネジメント、関係機関・職種のネットワークの構築の理論と方法を学び、在宅移行可能性の推進と在宅療養生活を安心して送れるようにするための具体的な支援方法を身につける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	在宅ケアマネジメント(1)	在宅ケアマネジメントとは 現状と課題 定義の理解 在宅ケアマネジメントの実際(1) (講師によるレクチャー)	峯岸 川添
2	在宅ケアマネジメント(2)	在宅ケアマネジメントの実際(2) 1: 医療依存度の高い療養者 2: 精神疾患をもつ療養者 3: 終末期ケア 1~3より課題を選び、実際の事例のケアマネジメント計画・実践・評価を行う。 各学生により、実際のケアマネジメント事例に対して、アセスメント、支援の計画・実施・評価に沿って発表、討議をする。 教員と学生による体験に基づいた討議 特別講師による事例の紹介と学生による討議	峯岸 川添
3	退院支援・調整と在宅療養移行支援	退院支援・調整、在宅療養移行支援とは 教員によるレクチャー、討議	川添
4	多職種連携・ネットワーク構築	関係機関・職種のネットワークの構築の理論と方法 教員によるレクチャー、討議	川添
5	退院支援・調整、多職種連携の実際	退院支援・調整、在宅療養移行支援、多職種連携、ネットワーク構築の実践事例について報告、討議	長江弘子(特別講師) 川添
6	継続看護マネジメント(1)	生活と医療を統合する継続看護マネジメントの理解 (特別講師による講義)	長江弘子(特別講師) 川添
7	継続看護マネジメント(2)	継続看護マネジメントの実際 1: 医療依存度の高い療養者 2: 精神疾患をもつ療養者 3: 終末期ケア 1~3より課題を選び、実際の事例の継続看護マネジメント計画を作成する。 各学生により発表する。	川添 竹生
8	継続看護マネジメント(3)	継続看護マネジメントの実際とまとめ 実際の事例のケアマネジメントの実践・評価を行う。 各学生により、実際の事例に対して継続看護マネジメントを展開し、発表、討議をする。 ディスカッションにより、在宅ケアマネジメントにおける重要な要素を再確認する。	川添 竹生

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業への準備状況（30%）、発表（30%）、課題レポート（10%）、討議への参加（30%）

【教科書】

長江弘子：生活と医療を統合する継続看護マネジメント．医歯薬出版．2014．

【参考書】

宇都宮宏子・山田雅子編：看護がつながる在宅療養移行支援 病院・在宅の患者像別看護ケアのマネジメント．2014．

宇都宮宏子編：退院支援ガイドブック 「これまでの暮らし」「そしてこれから」をみすえてかかわる．学研プラス．2014．

【学修の準備】

事前に講義内容に該当する実践事例の情報を集め、まとめておくこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。